

製品名: 嗅覚受容体 51F1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab15246**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	34kDa

抗原情報

遺伝子名	OR51F1
別名	OR51F1; OR51F1P; Olfactory receptor 51F1
遺伝子 ID	256892.0
SwissProt ID	A6NGY5
免疫原	抗血清はヒト OR51F1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 269-318

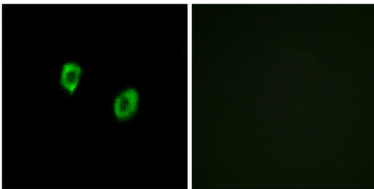
背景

嗅覚受容体は鼻腔内の嗅覚分子と相互作用し、嗅覚の知覚を引き起こす神経反応を引き起こします。嗅覚受容体タンパク質は、単一のコーディングエクソン遺伝子から生じる G タンパク質共役受容体 (GPCR) の大規模なファミリーに属します。嗅覚受容体は、多く

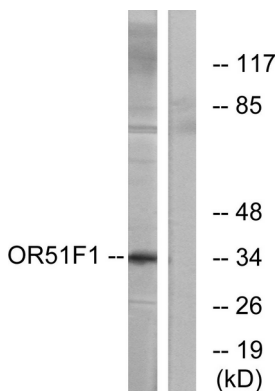
の神経伝達物質受容体やホルモン受容体と7つの膜貫通ドメイン構造を共有し、嗅覚シグナルの認識とGタンパク質を介した伝達を担っています。嗅覚受容体遺伝子ファミリーはゲノム中で最大のファミリーです。この生物の嗅覚受容体遺伝子およびタンパク質に割り当てられた命名法は、他の生物とは独立しています。この嗅覚受容体遺伝子は分離擬似遺伝子であり、一部の個体は機能的な嗅覚受容体をコードする対立遺伝子を持ち、他の個体は、注意:ここで示される配列は、Ensembl自動解析パイプラインから得られたものであり、予備的なデータとして考慮されるべきです。類似性:Gタンパク質共役受容体1ファミリーに属します。、

研究分野

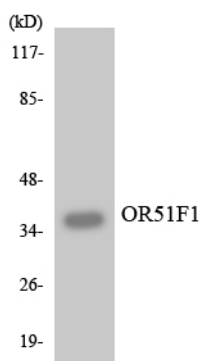
画像データ



OR51F1抗体を用いたCOS7細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロックした画像です。



OR51F1抗体を用いたK562細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



OR51F1抗体を使用したHepG2細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。